

文化芸術交流事業概観



①日本紹介のための派遣事業

空手、アニメ、木版画、華道などの専門家55名を世界各地に派遣して、講演、指導、ワークショップなどを実施しました(40カ国、22件)。また、60件の助成を行いました。

②文化人短期招へい事業

21カ国から、24名の文化の諸分野において指導的立場にある人を招へいし、日本の実情視察、関係専門家等との意見交換を行いました。(リスト18頁)



③文化芸術分野における国際協力

スポーツ、絵画修復、音楽専門家等を主に途上国に派遣し、現地の人材育成を支援しました(7件)。

また、海外の無形・有形の文化財保存に協力するため、4名の専門家をアジア、中米に派遣し、さらに助成4件を実施しました。



④市民交流青少年

コミュニティ活性化に取り組む専門家グループをブータン、インドやスペインに派遣。英国で行われた青少年の育成・学校外教育をテーマとしたシンポジウムに日本側参加者を派遣するなど、市民青少年交流事業を主催で7件実施。さらに、国内の団体が実施または参加する、市民交流事業83件に助成しました。



⑤中学高校教員交流

56カ国から213名の中学・高校の教員を招へいし、日本各地で学校訪問、文化施設等の視察や交流を行いました。



⑥異文化理解ワークショップ

日本における異文化理解促進のための公開講座等を17件実施しました。



⑦開高健記念アジア作家シリーズ講演会

故開高健氏の遺族からの寄付金により、毎年アジアの作家を招へいし講演会を実施しています。2005年はバングラデシュの作家イムダドゥル・ホク・ミロンの講演会を国内4カ所(広島、東京、大阪、仙台)で行いました。

⑧国際美術展への参加

第12回バングラデシュ・ビエンナーレ、第51回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展に参加しました。

⑨海外展

海外や日本の美術館などとの共催で「身体の夢」(韓国)、「アジアのキュビズム」(韓国、シンガポール)、「日本の知覚」(オーストリア、スペイン)、「Yokai-日本のお化け図鑑」(フランス)、「JIKI-日本の磁器1610-1760」(イタリア、フランス、ベルギー)、坂本一成建築展(チェコ、ドイツ、デンマーク、エストニア、ノルウェー)計6件の展覧会を実施しました。また、「未来への回路-新世代アーティスト」「現代日本デザイン100選」等の展示セットを、74カ国153カ所に巡回展示しました。さらに、日本の美術・文化を紹介するために、海外で行われる展覧会開催に対して助成しました(22カ国39件)。

⑩国内展

「アジアのキュビズム」展を東京において開催するとともに、「転換期の作法-ポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリーの現代美術」展を国内の美術館と共催しました(大阪、広島、東京)。また、これまで日本に紹介される機会の少なかった海外の優れた美術・文化を紹介する国内の展覧会に対して助成を行いました(11件)。

⑪造形美術情報交流

豪州と中・東欧の美術専門家グループ招へいを実施しました(2件、計17名)。また、アジア5カ国から若手キュレーターと共にネットワーク会議を開催しました(東京、大阪)。さらに、日本のイスラム美術研究者をハワイの研究機関に派遣しました(1件)。

⑫海外公演

J-POP(CORE OF SOUL、アジア4カ国)、和太鼓(林栄哲、豪州6都市・日豪交流年事業)、演劇(維新派、ブラジル、メキシコ)、文楽(文楽協会、欧州2カ国5都市、EU市民交流年参加)、八王子車人形(西川古柳座、欧州5カ国6都市)、ジャズ(金子飛鳥ユニット、アフリカ3カ国4都市)等、公演事業を46カ国で29件実施しました。また、舞台芸術や芸能の海外公演を行なう日本の公演団体に対する経費の一部助成を154件実施しました。

さらに、日本の優れた舞台芸術作品を紹介する米国の非営利団体を対象に、公募により助成を10件実施しました。(PAJ 13頁参照)

文化芸術交流事業概観



⑬国内公演

日本国内においてあまり知られていない国・地域の舞台芸術・芸能を、主催または共催により日本に紹介しています。チュニジア伝統音楽公演など、7件実施しました。また、助成を14件実施しました。さらに、「愛・地球博」における途上国公演について助成しました。

⑭舞台芸術情報交流

国内外の舞台芸術団体、プレゼンター、フェスティバル実施団体、劇場、地方公共団体間の情報交流促進を図るため、舞台芸術ウェブサイト、東京芸術見本市などを実施し、関係者を招へい、派遣しました。

⑮出版・翻訳協力

人文、社会科学および芸術分野の日本語で書かれた優れた図書の外国語への翻訳および外国語で書かれた図書の出版について協力しています。29カ国、57件。



⑯国際図書展参加

日本の出版文化の紹介と対日理解促進のため、海外で開催された12の国際図書展に参加しました。



⑰テレビ番組交流促進

日本のテレビ番組の海外における放映を促進するため、海外の放送局に番組を提供しました。42カ国、44件実施しました。

⑱映画・テレビ番組制作協力

海外における日本理解を促進するため、日本に関する映画およびテレビ番組等の制作費助成を、12件実施しました。

⑲海外日本映画祭

海外で行われる日本映画上映事業への協力を行いました。54件主催、56件助成。

⑳国内映画祭

アジア・中東の映画を紹介する映画祭を実施し、関係映画人の招へい等も併せて実施。また、アジア映画理解講座および英語字幕付き日本映画上映会を実施しました。7件主催、助成10件。

㉑映像・出版情報交流

Japanese Book News を刊行。また、New Cinema from Japanをユニジャパンと共同で刊行しました。

2005年度「文化人短期招へい者一覧」

(21カ国 24名)

地域	国名	氏名	所属機関名・肩書き	招へい期間
アジア・大洋州	タイ	カッサマー・ウオラワン	タイ教育省事務次官	2006年2/11-2/18
	インドネシア	ラトゥナ・サルンバエト	インドネシア文学者協会会長	2006年1/23-2/2
		リリス・ストーハ・サルンバエト	ジャカルタ・アーツ・カウンシル代表	2005年3/30-4/14
	ベトナム	ホンチュン・トゥン	ベトナム文化研究保存開発センター所長	2005年8/18-9/3
		タイタン・ファム	ベトナム文化研究保存開発センター副所長	2005年8/18-9/3
		ミントン・レ	アンザン省人民委員会副委員長	2005年3/7-3/21
	インド	シマドゥリ・ビハーリ・オタ	インド考古学調査庁主任調査官	2005年3/31-4/13
パキスタン	アガ・マスド・フセイン	ジャーナリスト、テレビ・ラジオブロードキャスター、Readers Publications編集長	2005年10/16-10/29	
バングラデシュ	アリ・イマム	バングラデシュ国営放送(BTV)ゼネラルマネージャー	2005年10/1-10/15	
米州	ニュージーランド	テ・タル・ホホワイト	ニュージーランド博物館テ・パハ副館長	2005年3/27-4/7
	カナダ	テイラー・ジョフリー	トロント国際作家祭ディレクター	2005年11/6-11/20
	メキシコ	カルロス・アンダ・クエト	カリジョ・ヘル現代美術館館長	2005年10/16-10/30
	ブラジル	アルナルド・マルシリオ・モンテイロ・ロレンサート	アプリル出版ヴェージャジャーナリスト・食文化評論家	2005年11/16-11/30
欧州	フランス	フランシス・ディディエ・ヴォルフ	パリ高等師範学校哲学科主任教授	2005年10/25-11/6
	イギリス	グラハム・アプトン	オックスフォード・ブルックス大学副学長	2005年1/16-1/27
	ドイツ	カロラ・グレスリン	ブラウンシュバイク美術連盟館長	2005年3/20-4/1
中東・アフリカ	ウズベキスタン	アリシエル・アマヌラエヴィッチ・フィズラエフ	世界経済外交大学第一副学長	2005年9/14-9/28
	カザフスタン	ムラト・ムクタロヴィッチ・アウエゾフ	カザフスタン国立図書館館長、作家	2005年10/2-10/15
	ルーマニア	ダン・プチウ	ブルキナファソ国立音楽大学学長	2005年9/9-9/23
	ロシア	ヴィクトル・ペレーヴィン	作家	2005年3/20-4/3
中東	アフガニスタン	シディック・バルマク	バルマクフィルム映画監督	2005年8/17-8/29
	モロッコ	スアド・レゾク	文化省芸術局局長	2005年10/10-10/25
アフリカ	南アフリカ	マイケル・ジョージ・マース	アート・スケープ劇場C.E.O.	2005年2/9-2/23
	モザンビーク	ジョエル・マウリシオ・ダス・ネーベス・テンベ	モザンビーク国立歴史資料館館長	2005年11/28-12/12